

白い呼吸

原民喜

青空文庫

おでん屋の隅で、ビヤ―・ホールの卓上で、或ひは喫茶店のボックスで屢々繰り返される極くありふれた会話の一形式がある。

どうも時代が代ってしまひましたな。今の若い連中なんか何だかまるで僕達には見当つかない。それにつけても僕達が若い頃は何と云つても恵まれてましたね。――さう云つて、四十代の男が二人盃で友情を温めながら夜を更かしてゐる。

どうも僕達だけが悩み通したのだね。今の若い連中なんか僕達よりかずつとガツチリしてる。それだけ時代が變つて來たのだね。結局中途半で路頭に迷ふのは僕達なのだね。――

――三十代の男が二人スト―ブで火照つた顔をあげて、ジョッキを傾け合ふ。

どうも僕達の時代も終りだな。今の中学生なんかまるでもう僕達とは違ふ。それかと云つて親爺連中の云ふことなんか間抜けだと思ふのだが、僕達も結局終には間抜けになるのかね。――さう云つて、二十代の男が二人コーヒ―のなくなつた茶碗を何時までも凝視してゐる。

夜更けのプラット・ホームで終電車を待つてゐる二人の少女がある。彼女達は一刻もぢ

つとしてゐることなく、絶えず巫山戯ながら男達の口真似をしてゐる。

——どうも時代が変りましたな、エヘン！

——僕達が間抜けで、今の若い連中なんか、その……

こま^{まり}しやくれた唇から迸る言葉は直ぐに白い呼吸になる。やがて電車が着くと二人はゴム鞆^{まり}のやうに飛んで行つた。

青空文庫情報

底本：「普及版 原民喜全集第一巻」芳賀書店

1966（昭和41）年2月15日初版発行

入力：蔣龍

校正：伊藤時也

2013年1月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

白い呼吸

原民喜

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>